

|      |           |      |    |       |        |      |      |
|------|-----------|------|----|-------|--------|------|------|
| レース名 | 日付        | クラス  | 場所 | コース   | 展開     | 想定馬場 | ポイント |
| 平和賞  | 2018/11/7 | SIII | 船橋 | 1600m | ミドルペース | 良    | 総合力  |

| 枠 | 馬番 | 馬名        | 性齢 | 斤量 | 騎手  | 父         | 父系統    | 母父               | 母父系統   | 能力 | 騎手 | 適性 | 展開 | 総合評価 | 期待値 | 印  | 結果 |
|---|----|-----------|----|----|-----|-----------|--------|------------------|--------|----|----|----|----|------|-----|----|----|
| 1 | 1  | サージュ      | 牡2 | 55 | 柏木  | サクラプレジデント | サンデー系  | Cure the Blues   | ターントウ系 | B  | C  | B  | B  | B    | B   | △1 |    |
| 2 | 2  | ファーストメロディ | 牝2 | 54 | 赤岡  | パイロ       | ナスルーラ系 | ゴールドアリュール        | サンデー系  | D  | B  | C  | C  | C    | C   |    |    |
| 3 | 3  | カネトシテッキン  | 牡2 | 55 | 増田  | スマートボーイ   | ノーザン系  | アグネスタキオン         | サンデー系  | C  | C  | C  | C  | C    | C   |    |    |
|   | 4  | スウォードクイーン | 牝2 | 54 | 藤本  | サダムパテック   | サンデー系  | Fusaichi Pegasus | ミスプロ系  | D  | B  | C  | C  | C    | C   |    |    |
| 4 | 5  | トーセンアイアン  | 牡2 | 55 | 矢野  | トーセンモナーク  | サンデー系  | シンボリクリスエス        | ロベルト系  | C  | B  | B  | B  | B    | B   | △2 |    |
|   | 6  | ライズインザノース | 牡2 | 55 | 的場文 | フレンチデビュティ | ノーザン系  | ネオユニヴァース         | サンデー系  | D  | C  | C  | C  | C    | C   |    |    |
| 5 | 7  | アギト       | 牡2 | 55 | 左海  | トゥザグローリー  | ミスプロ系  | ブライアンズタイム        | ロベルト系  | D  | B  | C  | B  | C    | C   |    |    |
|   | 8  | マイティウォーリア | 牡2 | 55 | 井上  | ロジユニヴァース  | サンデー系  | End Sweep        | ミスプロ系  | C  | B  | B  | B  | B    | B   | △3 |    |
| 6 | 9  | ヒカリオーツ    | 牡2 | 55 | 瀧川  | フリオーツ     | ロベルト系  | サウスヴィグラス         | ミスプロ系  | B  | B  | B  | B  | B    | A   | ○  |    |
|   | 10 | カジノフォンテン  | 牡2 | 55 | 川島  | カジノドライブ   | ナスルーラ系 | ベストタイアップ         | ノーザン系  | D  | C  | B  | C  | C    | B   | ×1 |    |
| 7 | 11 | ハルディネロ    | 牡2 | 55 | 真島  | ダンカーク     | ミスプロ系  | サンデーサイレンス        | サンデー系  | A  | B  | B  | C  | B    | B   | ▲  |    |
|   | 12 | トーセングーネット | 牝2 | 54 | 笹川  | アグネスデジタル  | ミスプロ系  | クロフネ             | ノーザン系  | A  | B  | A  | B  | A    | B   | ◎  |    |
| 8 | 13 | スフォルトアート  | 牡2 | 55 | 繁田  | フリオーツ     | ロベルト系  | シンボリクリスエス        | ロベルト系  | D  | C  | D  | D  | D    | D   |    |    |
|   | 14 | リュウノボサノバ  | 牡2 | 55 | 森   | エスポワールシチー | サンデー系  | エルコンドルパサー        | ミスプロ系  | D  | A  | C  | C  | C    | C   |    |    |

| 隊列図  | 見解  | ラップタイム |
|--|---|--------|
| ヒカリ<br>トーガ<br>アギト<br>マイテ<br>リュウ<br>トーア<br>ライズ<br>カジノ<br>カネト<br>ハルレ<br>スフォ<br>サージ<br>ファー<br>スウォ | 平和賞は、北海道勢vs南関東勢という図式になるレース。過去5年の3着以内馬は、南関東勢が9頭に対し、北海道勢が6頭。数の上では南関東勢が上回っているものの、出走馬の分母を考えれば、北海道勢が互角以上の戦いを見せている。ご存知の通り、2歳戦が最も早く行われるのが北海道競馬。門別には屋内の坂路があるので、北海道の2歳馬は早い段階からメキメキと力をつけていく。昨年の平和賞では、北海道勢のリンノストーンが優勝。同馬は前走フローラルカップで6着に敗れており、北海道勢は重賞実績がなくても要注意だろう。しかし、今年の北海道勢はファーストメロディ、マイティウォーリアの2頭でやや小粒。今年南関東勢の層が厚いので、南関東勢同士の争いになってもいいだろう。それでは予想にいきましょう。 | 回顧     |
| ミドルペース   | 本命は <b>トーセングーネット</b> が強いはず。前走トーシンブリザードメモリアルは1位入線後に禁止薬物の陽性反応が出てしまい、失格になるアクシデント。「薬物の陽性反応」といえば聞こえは悪いが、顔を擦りむいたための治療薬を規定に従って投与したものの、運悪くそれが残っていただけ。馬のパフォーマンスには全く関係がない。(以下省略)  | 次走狙い馬  |

| 枠 | 馬番 | 馬名        | 印  | 評価  | 結果 | 回顧 |
|---|----|-----------|----|---|----|----|
| 1 | 1  | サージュ      | △1 | 北海道→南関東の移籍馬。デビュー2戦目で北海道2歳優駿を制した(のちに2着と判明) ウィンターフェル、サンライズカップを制したマイコートと戦って大きく離されていないのは評価できる。  |    |    |
| 2 | 2  | ファーストメロディ |    | 2走前のフローラルカップは終いに差を詰めているが、走破時計、メンバーレベルを考えると凡戦と<br>いっていい(勝ち馬スズカユースは次走北海道2歳優駿で11着と大敗)。南関東の重賞でも能力不足の<br>はず。                                       |    |    |
| 3 | 3  | カネトシテッキン  |    | 前走鎌倉記念は上位勢が手強かったとはいえ、完敗といえる内容。今回も重賞に相応しいメンバーがそ<br>ろっており、馬券圏内の好走までは難しいか。   |    |    |
|   | 4  | スWORDクイーン |    | 特別戦で全く通用していない現状。重賞では荷が重い。   |    |    |
| 4 | 5  | トーセンアイアン  | △2 | 前走トーシンプリザードメモリアルでトーセングーネットに完敗も相手が悪過ぎただけ。トーセングー<br>ネットとの逆転は難しくても、そのほかの馬との能力差はないだろう。  |    |    |
|   | 6  | ライズインザノース |    | 転入初戦こそ格付け有利で快勝したものの、同開催同条件の2歳重賞・鎌倉記念に出走していれば、11<br>着に値する走破時計。本馬を買うならヒカリオーソ、カネトシテッキンを買った方がいいだろう。   |    |    |
| 5 | 7  | アギト       |    | 前走秋西特別ではヒカリオーソに完敗している馬。大幅な上積みでもない限り、このメンバーで上位争<br>いするのは難しいのでは。  |    |    |
|   | 8  | マイティウォーリア | △3 | キャリアが浅く、どこまで強いのか未知数も、新馬でレマーカブルに圧勝しているのであれば、決し<br>て弱い馬ではなさそう。遠征経験豊富な林厩舎、門別勢であるなら押さえておきたい。  |    |    |
| 6 | 9  | ヒカリオーソ    | ○  | 前走鎌倉記念は勝ち馬ミューチャリーから2.3秒差の4着と完敗も、上位2頭のレベルが高過ぎた感じ。<br>実際、勝ち馬ミューチャリーがマークした1分33秒6は鎌倉記念レコード。本馬の1分35秒9は例年な<br>ら勝ち負けしている時計で、つけられた着差や着順以上に評価していいだろう。  |    |    |
|   | 10 | カジノフォンテン  | ×1 | 新馬からメンバーレベルがグンと上がるので、パフォーマンスを大幅に上げない限り、上位争いは難し<br>いと見ているが、本馬もどこまで走るかわからず、念のため押さえておきたい。  |    |    |
| 7 | 11 | ハルディネロ    | ▲  | 新馬、2戦目のはやぶさ特別ともにスタートで出遅れながらも勝利。前走はやぶさ特別で負かしたシ<br>ビックヴァーゴは次走で準重賞・ゴールドジュニアを圧勝。本馬はキャリア1戦でシビックヴァーゴを<br>下したのだから、能力は相当高いと見ていいだろう。                   |    |    |
|   | 12 | トーセングーネット | ◎  | 前走トーシンプリザードメモリアルは1位入線後に禁止薬物の陽性反応が出てしまい、失格になるアク<br>シデント。「薬物の陽性反応」といえば聞こえは悪いが、顔を擦りむいたための治療薬を規定に従って<br>投与したものの、運悪くそれが残っていただけ。馬のパフォーマンスには全く関係がない。 |    |    |
| 8 | 13 | スフォルツアート  |    | 前走鎌倉記念は勝ち馬ミューチャリーから4.2秒も離されての10着。重賞で通用する力はない。   |    |    |
|   | 14 | リュウノボサノバ  |    | 前走ボートサイドアイドル特別で初勝利を果たすも相手関係に恵まれた印象が強い。重賞では荷が重い<br>のでは。  |    |    |